

しんりんかんだより

年主題

「つながって」～今、わたしを生きる～

月主題 3F/2F めをとめて/探ってみる

‘22 第3号 (vol. 63)

2022年6月1日発行



「動き出す」

「今日は、だれ先生かなあ～」朝一番に階段を上ってくるE君の声が聞こえてきました。

「おはようE君」と声を掛けると「あれっE先生じゃなかった。」と言いながらも自分で靴を持って機嫌良く部屋に入ってきました。今まで「やだやだO先生がいいのー」と前担任の名前を呼び続けていたのに今日は違います。

E先生は、幼児組に進級したE君が新たに出会った担任です。E君は2歳児クラスの時から激しく自分の気持ちを表し一日中「嫌だいやだ」の声を上げていました。まさにザツ2歳児という感じの姿ですが、その姿が一年以上続き、進級して更に激しさを増していました。そして昨日は、大好きなH君と関わりたいのに上手く気持ちが伝えられずつい手が出てしまい、E先生に「それは違うよ、H君にも気持ちがあるよ。」と厳しく諭されたばかりでした。その時は、いつものように嫌だいやだと泣いていたE君でしたが、E君の中で何かが変わったのだと思います。E君にとって僕の先生がO先生からE先生に変わった瞬間でした。

入園、進級して新しい出会いを経験した子どもたちが自ら「動き出す」私たちは子どもたちが自ら動き出す瞬間を見逃さずに待ち、見守り、促していきたいと思います。どの子にもその力はきっとあります。

乳児クラスで遊んでいると、下の幼児クラスから泣き声が聞こえてきました。「誰か泣いているね～どうして泣いているのかなあ～」と心配そうに話すHちゃんの声が聞きました。「どうしてだろうね」しばらくすると泣き声は聞こえなくなりました。「もう泣いてないね」良かったという顔でHちゃんは遊びに戻っていきました。

年下の子がケンカをしているときに「どうしてほしかったの？」と年長さんが気持ちを聞いてくれている姿をよく目にします。若葉の季節、動き出した6月の子どもたちのひとり一人の心の動きを感じながら、日々の生活を共に楽しんでいきたいと思っています。

(主任 鹿糠 正美)